

非常電源（低圧で受電する非常電源専用受電設備）試験結果報告書							
試験実施日			年	月	日		
試験実施者							
住所							
氏名					印		
消防用設備等の別							
使用区分		消防用設備等のみに使用（ ）					
		その他と共用（ ）					
受電方式		Φ	W	V	Φ	W	V
主開閉器		定格電圧		V	定格電圧		V
		定格電流		A	定格電流		A
試験項目				種別・容量等の内容		結果	
外	設置場所等						
	構造・性能			——			
観	保有距離 〔m〕	保有距離を確保しなければならない機器等の部分		操作面 (前面)	点検面	屋外・屋上で建築物と相対する面	—
		一種耐熱形配電盤等					
		二種耐熱形配電盤等					
		一般形配電盤等					
試 験	設置方法		分岐方法		——		
			結線・接続		——		
			表示		——		
			耐震措置		——		
			配電盤等の機器		——		
			配線		——		

試 験 項 目		種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果
機 能 試 験	接 地 抵 抗 試 験	(接地工事の種類) 種接地工事 Ω	
	*絶縁抵抗試験	充 電 部 相 互 間	$M\Omega$
		充 電 部 と 外 箱 間	$M\Omega$
備 考	試験実施者が有している資格：		

- 備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 使用区分の（ ）書きは、共用している設備名を記入すること。
- 4 結果の欄には、良否を記入すること。
- 5 *印の試験は、「配電盤及び分電盤の基準」（昭和56年消防庁告示第10号）に適合している旨の表示が付されているものにあつては、当該設備に係る部分について省略することができる。